

この度は文部科学大臣賞という大変名誉ある賞をいただき、驚きと感謝の気持ちでいっぱいです。

思えば小学一年から書を習い始め、初めてコンクールに出品したのは翌年のことでした。その際、文部科学大臣賞に輝いた同い年の男の子の作品を見て「世の中にはこんなに字が上手い小学生がいるのか！」と驚いたと共に、「私には到底無理だ……」と諦めの気持ちを抱いたことを今でもはきりと覚えています。

あれから早十一年、ようやく最高賞にたどり着くことができ、辛いこともありました。が書を書いてきて本当によかったです。

春から大学に進学し、教職課程に追われる中で更に運動部に所属したことで、例年の半分も練習時間をとることができませんでしたが、その分一枚一枚に渾身の力を込めて取り組みました。指導してくださった先生、本当にありがとうございました。これからもこの賞に恥じぬよう、日々精進して参ります。

最後になりましたが、審査員の先生方、大会関係者の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。